

Jj の歌「Jiggle! Jump! Jog!」 40分 見本クラス

レッスンプラン サンプル①		【歌う・動く・身振りする：英語を体で覚える！】		
過程	Jazzles	生徒の活動	先生の活動・声掛け	目的・効果
導入	Uppercase "Jiggle! Jump! Jog!"	スクリーンに集中する	「今から歌をみんなで見るね！」 これは、なんの文字でしょうか？	文字の形を覚える、文字の発音を身に付ける。歌はすぐに覚えられないのは普通。Jazzles 開発者のレズリー・ベスも、月から金まで毎日少しやれば子どもたちが覚えていくと説明して、一回だけで覚えることが中々ない。まずはメロディーと歌詞の中で出る言葉を覚えることが大事。
展開				
2分	Animation 1回目	・初めて歌を耳にする 聴いて歌を覚える		歌を覚えることで、英語の発音が耳に残る
2分	Uppercase "Jiggle! Jump! Jog!"	・先生に感想を教える ・どういう言葉が聞き取れたかを伝える ・どう話だったかを説明してみる	・感想を聞く 「ちょっと分かった？」 「Jiggle, Jump, Jog の意味が分かった？」 ・フラッシュカードで学習	・感想を聞いて、もう一回聴く前に少し間を空ける ・カードの目的は ① 音と絵 そして ② 絵と文字 を順番に繋げることです。
2分	Animation 2回目	・Card で習った言葉を口にしてみる	・Card の言葉が出たら一時停止する	子どもには言葉を口にするように Motivation をさせる。日本語でも良いので、とにかく参加させる。
5分	Talking Books, Reading	・単語の意味を覚える ・アクションを覚えて、まねして、身に付ける ・イメージを作る ・音と文字を一致させる	・歌と言葉の意味を軽く説明する	語彙力、理解力、言葉を体で覚える 身振りは大事な作業 子どもの中で「K」タイプ（体で覚える）子どもがとて多いので、ただ観て聴いて覚えるだけでなく、体を使うことも大切。
2分	Animation	歌いながらアクションをしてみる	リードする、生徒に向かって身振りの手本を見せる 「英語の言葉を体で表現する！」「まねしてね！」	歌う、アクションすることによって、体で覚える
10分	Class Activity Sheet を配る (歌詞シート)  Talking Books, Reading	① マーカーを使って言葉をハイライトする  ② みんなで言葉を発音してみる	J で始まる言葉をハイライトさせる: "joke" "jog" "jump" "jiggle" のマーカーを大いに用意する ② 言葉の発音と意味をさらに教える (重要)	重要なアクティビティ： 今までの学習を具体化する。 Reading と Speaking と Listening を同時に練習させるアクティビティ！
まとめ				
5分	Game Sweeper? Listening? Matching?			Sweeper はよくクラスの最後にやる。子どもたちは自分で操作して、お互いをヘルプすることが多い。スコアの記録も出て、トップスコアを目指すのに子どもたちが精一杯。  Listening はグループでもチームでもできる。Listening Skill を中心に、音と絵の繋ぎを強くする  Matching は1人ずつでも、みんなでも出来るゲーム。  Reading Skill を中心に、文字と絵の繋ぎを強くする。  Matching したら音が流されるので Listening にもなる。  その他に神経衰弱、パズルなどのゲームがあって、クラスの最後に、あるいは自由時間に子どもにやらせると楽しく英語を身につけることが出来る。